

《平成24年度 薩摩川内市事務事業評価表》

1 事務事業の位置付け(Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	中島哲郎
事務事業名	春の芸能祭			担当者	園田健一
所管部課名	教育部 文化課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文化 のまちづくり	主要施策 (節)	地域文化の保存・継承
				施策 (項)	文化活動の推進
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	社会教育費		目	文化振興費
	事項	文化振興事業費	細事項	文化振興事業費	

事業の概要

市内で伝承される郷土芸能及び市内で活動される舞踊、音楽、文芸等の愛好家による芸能発表

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	出演者 市内郷土芸能団体 文化協会会員等		事業開始年度		平成18年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	運営について文化協会へ委託	活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名	①	春の芸能祭開催		
					②			
				最終目標値	①	1回/年		
					②			
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	郷土芸能を発表することで保存・継承を図り、優れた郷土芸能を市民へ広く周知する。市民による舞踊、音楽、文芸など日頃の修練の成果を発表する場や市民が文化芸術を鑑賞する機会を設け文化振興を図る。	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	①	観客動員数		
②								
最終目標値				①	述べ1200名			
				②				
最終年度	①	平成28年度						
	②							
コスト・指標の推移	項目	単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 (実績)	平成25年度 (見込み)	平成26年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		1,477	1,700	1,615	1,615	1,615
		合計(A)		1,477	1,700	1,615	1,615	1,615
	従事職員数	人	0.07	0.01	0.01	0.01	0.01	
	人件費(B)	千円	560	80	80	80	80	
	従事嘱託員数	人						
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	2,037	1,780	1,695	1,695	1,695	
活動指標の推移	①	回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
成果指標の推移	①	人/年	800	800	800	900	1000	
	②							

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

委託料

3 事業の視点別評価 (Check)

妥当性	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当でない	資料2
	(上記選択の理由) 平成22年度まで、市が直営で実施していたが、平成23年度から薩摩川内市文化協会に業務を委託し、文化団体との連携により、動員数の増、内容の充実を図る。				
妥当性	市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき	
	(上記選択の理由) 郷土芸能を発表することで保存・継承を図り、優れた郷土芸能を市民へ広く周知する。 また、市民による舞踊、音楽、文芸など日頃の修練の成果を発表する場や市民が文化芸術を鑑賞する機会を設け文化振興を図る必要がある。				
効率性	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない	
	(上記選択の理由) 事業費は大半が、舞台演出と出演料に充てられるため、出演者が確保できない恐れがある。				
効率性	人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない	
	(上記選択の理由) 業務委託で実施しているため、人件費を要さない。				
有効性	成果の達成度	<input type="checkbox"/> かなり高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> 低い	
	(上記選択の理由) 市で実施していた時より、特別企画を設けるなど総体的に公演内容が刷新され、市民から好評を得た。				
有効性	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> かなりある	<input type="checkbox"/> ある程度ある	<input type="checkbox"/> ほとんどない	
	(上記選択の理由) 専門的な知識を有する文化協会が企画・運営することで新たな発想や試みなどが期待できる。				

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)

内部評価 (一次)	①今後の改革の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続					
		<input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合	<input type="checkbox"/> 手段の改善	<input type="checkbox"/> 移管	<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止				
	②上記方向の理由	市内全域の郷土芸能、舞踊、音楽など伝統芸能を発表する大会として、市民の文化活動を周知し、振興を図るよい機会であることから継続したい。					
	③改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画	平成23年度より、市文化協会へ委託事業に変更した。 大会終了後の反省点を、相互に共有し、次回大会に活かせるように打ち合わせを充実させ、改善に努める。 大会の企画、出演者等に改善を加え、観客動員の増加を図る。					

内部評価 (二次)	評価者名	教育部長 田畑逸郎					
	①内部評価結果	妥当性 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> 低い		
		効率性 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> 低い		
		有効性 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> 低い		
	②今後の改革の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続					
		<input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合	<input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善	<input type="checkbox"/> 移管	<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止				
	③上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分)	観客動員数の増加策の検討					